

## 未来の学校

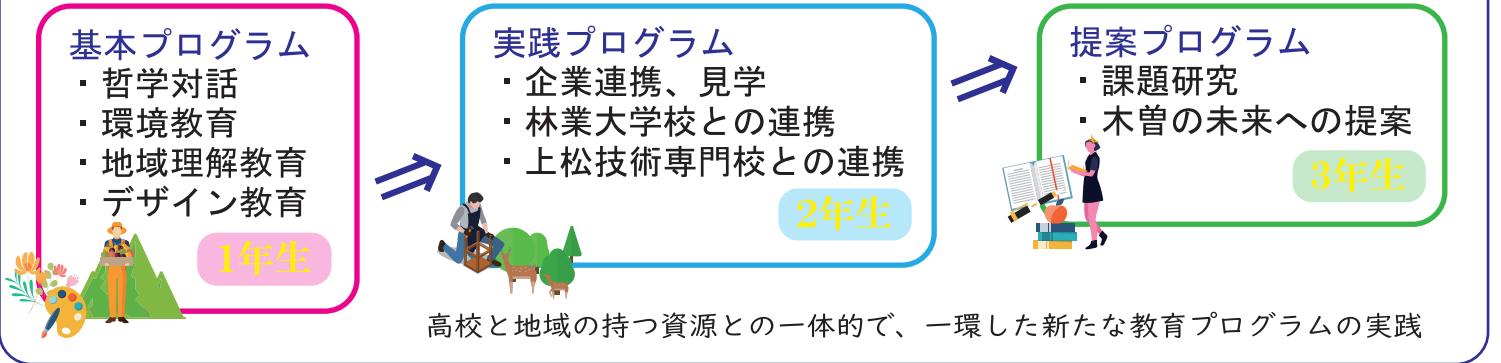
## 森林環境科・インテリア科

### 「未来の学校」構築事業

長野県では今、「高校改革～夢に挑戦する学び～」を旗印に、高校教育の発展的な将来像を見据えた検討が進められています。「未来の学校」構築事業もその一環で、2020年度には木曾青峰高校を含む県内の6校が研究の実践校として指定され、変化を続ける社会の諸状況に対応しながら、魅力的な学びの場の創出を目的に、各校が独自プログラムに取り組んでいます。

### 木曾青峰高校「未来の学校」

「高度な産業教育を推進する高校」の実践校としての取り組みを通して、地域の未来を担う地域産業人を木曾青峰高校（森林環境科・インテリア科）より輩出する教育プログラムです。



「未来の学校」では様々な授業を実施しています。今回はその一部（1年生の取り組み）をお伝えします。

### 01 哲学対話

未来の学校スタート！テーマは「選ぶ」

長野県立大学グローバルマネジメント学科、准教授馬場智一先生をお招きし、「哲学対話」を実施しました。

今回のテーマは「選ぶ」。自分で道を選ぶことの大切さについて話し合わせ、これからの自分と向き合い、自分以外の人の考えにふれる時間となりました。

講話

講師

長野県立大学  
グローバルマネジメント学科  
准教授  
馬場 智一 先生

各グループに分かれて対話

生徒の感想

★色々な人の考えを聞き、自分に取り入れることができているなと思った。★自分のことについて深く知ることができた。★みんなの意見に共感でき自分の思いがより強くなった。

### 02 地域理解教育

地域で活躍している「産業人」

生徒1人1人が地域で活躍している61人の産業人を選びました。

猟師でレザークラフト作家の難波崇さん、工芸、ろくろ細作家の西澤知世さん、日本の418もある島のことについて調べている離島経済新聞の記者である松本一希さんなど様々なジャンルで活躍している産業人の方々に講師としてお呼びし、話を聞きました。

トークセッション

講師

猟師  
レザークラフト作家  
難波 崇 様  
工芸・ろくろ作家  
西澤知世 様

オンライントーク

講師

記者  
松本一希 様  
(離島経済新聞)

### 03 デザイン教育

木曾を盛りあげる「モノ・コトデザイン」

木曾五木、赤かぶ、水、ヒノキのアロマ、へぎ板など地域の資源を活かした新たな商品を生み出すモノ・コトデザインプロジェクトを13グループに分かれ実施しています。どのグループも材料の使い方にとらわれず多角的に捉え今までにないデザインを考えています。3月初旬には13グループの発表会が行われます。

木曾の名産品に触れる

この「未来の学校」で青峰生と地域が繋がり、木曾地域の未来に繋がるよう日々、挑戦しています！！



スクールマガジン4号を発行します。このスクールマガジンを通じて本校の様子を中学生及び地域の皆さんに紹介させていただきます。また本校のウェブサイトもあわせてご覧いただければ幸いです。

■木曾青峰高等学校 教務室 Tel : 0264-22-2315 / Fax : 0264-21-1056 URL : <http://www.nagano-c.ed.jp/seiho/>  
 ■ご意見・ご質問は下記までお寄せください。E-mail : [seiho@nagano-c.ed.jp](mailto:seiho@nagano-c.ed.jp)

# 台湾交流

11月12日（金）：理数科・普通科

「台湾の高校生と交流をしました！」

県観光機構が毎年幹旋している台湾の高校生との交流事業に本校もチャレンジしてみました！本来であれば来日して直接交流するのですが、コロナ禍であるため、オンラインで複数回交流することになりました。

## 代表者 学校紹介



先日、台中市立大里高級中学（高級中学＝高校）と第1回目の交流会を行い、普通科と理数科の3年生9名が参加しました。もちろん使用言語は英語です！最初にそれぞれの代表者が学校紹介をし、その後4つのグループに分かれて自由に自己紹介をしました。約1時間の交流でしたが、笑顔いっぱい、楽しそうな笑い声があちこちから聞こえました。1月に第2回目（互いの文化についてのプレゼンテーション）を行う予定です。

## 参加生徒の感想

- ・日本のアニメやバレーボールなど、共通の話題で盛り上がりました。楽しくてあっという間に時間が過ぎてしまいました。
- ・台湾の文化についても知ることができてとても良い機会でした。
- ・海外の人と英語で話すのは初めてだったので、最初はとても緊張しました。
- ・インスタを交換してメッセージのやり取りができるようになったことがとても嬉しいです。



## グループで自己紹介

# 星の教室 2021

8月4日（水）：理数科

最先端そして世界唯一の天文台で “星の教室 2021”

テーマは “宇宙の年齢”



東京大学本曾観測所



観測所内の見学

ドームのスリットから青空が見えることは、滅多にありません。保守作業と重なり、実現しました。



テーマ解析・討論

最先端そして世界唯一の天文台で“星の教室 2021”が行われました。テーマは“宇宙の年齢”です。グループごとに、資料を集め、解析し、討論しました。また昼間には太陽の観測をし、夜には天の川と夏の大きな三角形の観測もしました。

## 参加生徒の感想

★シュミット望遠鏡“トモエゴゼン”が大きく圧倒された。すごい機能にびっくりした。★宇宙に関する講義がとても面白かった。★授業で学んだ内容を、実際の計算で求めた。法則を発見するのは大変なことだ。★グループで計算の方法を話し合いながら進めた。内容がとても難しかったが、協力してできた。

# 定時制の活動

8月～11月



長崎平和資料館



SDGs



立会演説会



長崎ハウステンボス

8月から11月にかけて定時制は多くの活動・行事等を行ってきました。外部の先生に行っていただいた、「スマホ・ケータイ教室」「新聞を使ったSDGsを考える授業」「SST」「薬物乱用防止授業」等では、社会問題や身の回りの物事を自分事として深く考えるきっかけとなりました。校外の行事はコロナ禍で心配されましたが、十分な感染対策をとり全学年が遠足・芸術鑑賞で松本を訪れ、3・4年生は長崎の修学旅行も予定通り実施することができました。生徒会活動では、立会演説会と選挙が行われ新生徒会長が決まり4年生からバトンが渡され世代交代となりました。